

35社47人が参加

令和8年1月28日（水）14時00分から17時00分まで、磐田市民文化会館「かたりあ」リハーサル室において、第6回の集会を開催しました。

当日は、プラットフォーム会員であるスポーツチームや企業、行政関係者などに加え、登壇団体の取り組みに関心を持つ企業や個人など、35社47人が集まりました。

1年間の振り返り

会の冒頭では、草地市長がプラットフォームへの期待などを語った後、合同会社ANTVIEW代表社員の掛下大規氏と一般社団法人Future Innovation Lab代表理事の五郎丸歩氏が登壇。この1年間にプラットフォームで発表した、スポーツと異分野による取り組みについて振り返りました。来年度の構想なども語り、今後の取り組みへの期待が高まりました。

登壇者発表

続いて、事前公募により選ばれた5団体が登壇し、各々の活動内容やビジョンについてプレゼンテーションを行いました。スポーツを起点とした多様な課題解決への取り組みなどが紹介されました。各団体からは、それぞれの活動をさらに発展させるための課題が共有され、参加企業や他団体との新たな共創に向けた連携が呼びかけられました。

<発表団体およびテーマ>

- ① 一般社団法人ASOBI 「スポーツでインクルーシブな社会を創る活動発表」
- ② 一般社団法人Connecting Community 「子供達が輝ける場を地域と共に創る」
- ③ 静岡産業大学スポーツ振興部 「大学スポーツ資源を活かした公民学連携モデルの形成」
- ④ NPO法人U.S.P.R 静岡県水上オートバイレスキー連合体 「静岡（磐田）の海を守るために、地域でできる水辺の安全と仲間づくり」
- ⑤ NPO法人スポーツコミュニティ磐田・ポーラスター 「中学校部活動地域展開からスポーツの未来を考えよう！」

ブースでの意見交換

発表後は、登壇者ごとに設けたブースで参加者との意見交換を実施しました。参加者は関心のある団体のブースを自由に訪問し、発表内容をさらに深掘りしたり、自社の持つリソースと連携できる可能性を探るなど、会場の至る所で真剣な対話が繰り広げられました。具体的な共創の芽が生まれる貴重な機会となりました。

作成：磐田市